

2014年(平成26年)5月23日 金曜日

飛驒地域 16



「龍の瞳」種から育てる

宮田小児童

下呂市萩原町宮田の宮田小児童5年生10人が22日、学校の近くの田んぼで、同市発祥のブランド

米「龍の瞳」の田植えをめるNPO法人龍の瞳倶楽部の呼び掛けで4年前から行っている。農家の

「龍の瞳」の発見者今井隆さん(58)が代表を務

今井好次さん(66)の田ん

ぼで、児童たちが種から育てた苗を手植えた。

児童たちは、半袖半ズボンの体操服姿で田植えを体験。田んぼのぬかるみに足を取られながらも、苗を数株ずつ手で植えた。今後、児童らで水などを管理し、9月ごろに収穫し、地域に配る予定という。

今井隆さんは「『龍の瞳』が世に出て10年。今年には学校でも授業を行い、米作りについて知識を深めていきたい」と話した。

(三輪真大)

「龍の瞳」の苗を手で植える5年生たち＝下呂市萩原町宮田

泥んこ、元気に田植え